



THE BRANDO



ザ・ブランドについて

ザ・ブランドは、フランス領ポリネシアにある美しいテティアロア環礁に建つブティックホテルです。テティアロアは、タヒチ島北50キロに位置し、12の小さな島からなる個人所有の環礁です。映画"バウンティ号の反乱"の撮影で訪れたハリウッド俳優、マーロン・ブランドは、この環礁に惚れ込み、最終的に島自体を購入するに至りました。マーロン・ブランドのヴィジョンにインスパイヤされて開業したザ・ブランドは、サステナブルテクノロジーを駆使したパイオニア的存在で、SWAC と呼ばれる海洋深層水を使った空調システム、ソーラーパネルなど再生可能なクリーンなエネルギーを使用しています。

35棟のヴィラからなるオールインクルーシブリゾートには、ヴィラごとにプランジプールとプライベートビーチへのアクセスが設けられています。パブリックエリアには、フレンチガストロノミヤポリネシアの伝統料理を楽しむ3つのレストラン、スパ、ラグーンの眺望が自慢のバー2つ、プール、オーガニック菜園、ライブラリー、ブラックパールショップ、アクティビティセンター、エコステーション



THE BRANDO

などがございます。環境へのリスペクトと保全、ピュアな自然で過ごすバカンスの質の高さが評価され、今日、世界中からセレブリティがこのサンクチュアリを訪れています。

ミッションとビジョン

私たちは、旅が世界を更に良い場所にする力があると信じています。ザ ブランドのゴールは、環境に敏感、かつサステナブルなやり方で、ポリネシアの文化を堪能できる豊かなゲストエクスペリエンスをお届けすることです。私たちは、大自然での遊びと発見、環境保護と教育を通し、豊かな自然と文化遺産を次世代に引き継ぐ責務を担っています。世界中の人々が次世代のために地球を守るきっかけとなるよう、革新と環境保全をルーツとするサステナビリティの世界モデルになるべく邁進しています。

サステナブルツーリズム

サステナブルツーリズムとは、その土地を更に良いものとする 것입니다。世界はかつてないほど繋がっています。ツーリズムが地球を支える自然、文化、コミュニティ、かけがいのない資産を守る力となるべく、私たちひとりひとは責任を負っています。

-ローカルコミュニティへのサポート

ポリネシアの人々にとって、未来も変わらない暮らしを守ることは、ザ ブランドのサステナブルミッションの中核です。テティアロア環礁での雇用創出と能力開発の機会提供を通して、リゾートはこれまでも地元の人々の力となってきました。リゾートオープン前から、18ヶ月間のホスピタリティ&ツーリズムキャリアトレーニングプログラムを実施し、その後もサステナビリティトレーニングを継続しています。従業員全体の8割がポリネシア人であり、また全ての従業員はウミガメのモニタープログラムなど、環礁全域に及ぶサイエンティストの研究プロジェクトへの参加、エキスパートのレクチャーの受講、専門家によるフィールドトリップ体験などの機会が与えられています。



THE BRANDO

-文化へのサポート

テティアロア環礁は、かつてタヒチの王族だけがアクセスを許された休息地であり、フレンチポリネシアの文化遺産において重要な役割を果たします。ザ・ブランドでは、このユニークなアイデンティティ、伝統、そしてそこに息づく生活を継ぐイニシアチブを応援しています。リゾートでは、ゲストがタヒチアンダンスレッスン、ヤシの葉を編むレクチャー、アウトリガーカヌー体験などのアクティビティへの参加を通して伝統文化を学びます。

また、文化庁との協力のもと、ポリネシア全域で見られる古代のセレモニーと集会の場所であるマラエなど、数箇所での考古学フィールドワークをサポートしています。

環境保護

ザ・ブランドは、テティアロア環礁に育まれた文化と自然を尊重し、それを守る担い手であると自負しています。テティアロア環礁を、自然の姿のまま保護し、守り続けることが最大の課題です。

-世界初のゼロ・エネルギー使用リゾートを目標に掲げ、CO₂排出もゼロを目指しています。島内は電気自動車を導入、ゲスト用に自転車を完備します。

-LEEDプラチナ認証を取得

ザ・ブランドは、2016年フランス領ポリネシアで初めてLEED認証(Leadership in Energy and Environmental Design)の最高位にあたるプラチナ認証を取得しました。LEEDは、アメリカのグリーンビルディング協会(USGBC)が開発した建築物の環境性能評価システムです。建築物全体の企画・設計から建築施工、運営・メンテナンスまでにわたって省エネ、環境負荷をポイントで評価します。テティアロア環礁の手付かずの自然を守りながらの開発、運営におけるサステナビリティ、そして環境保全へのコミットメントが実を結びました。

-蚊の繁殖抑制

タヒチにある研究所(ILM)が、ボルバキア菌を持つオスの蚊をリリースすることで、蚊の繁殖を抑制する画期的な手法を構築しました。ボルバキアを持つオスがメスと繁殖行為を行うと、メスが不妊化され、結果として蚊の繁殖が妨



THE BRANDO

げられます。強力な殺虫剤を撒布することなく、様々な恐ろしい病気の媒体となる蚊の発生をコントロールしたことは、環境への大いなる貢献です。

-深海水による、画期的な冷房システムを導入

タヒチで始めて実用化された画期的な海水冷却システムが、SWAC (Sea Water Air Condition) です。これは、深海から汲み上げた冷水の低温度を利用した空調。海底約1kmの深海から3~4度の海水を汲み上げ、それを使ってホテル施設を循環する真水を冷却し、冷房に活用します。その後温かくなった海水は、同じ水温帯に放出するよう設計されています。

-太陽とバイオによるエネルギーを島内で生産、蓄電

島内で使用されるエネルギーは、ソーラーパネルとバイオ燃料によりまかなわれます。バイオ燃料は、地元で生産するヤシ油を燃料としており、地元経済にも貢献。余剰エネルギーは、安全性とサステナビリティに優れており、次世代のバッテリーとして注目される亜鉛臭素フロー・バッテリーに蓄電されて、必要に応じて使用されます。

-無駄を無くした、水と廃物の再利用

廃棄物のマネジメントはリゾートにとってプライオリティの一つです。使用量の75%が飲料水として求められているティアロア環礁において、塩分除去作業をできるだけ押さえると共に、水の無駄遣いに注意しています。雨水の利用に加え、汚水を現地で採取される植物でフィルター処理し、エコフレンドリーなアシ栽培による下水処理を行っています。

リゾートから出される72%の廃棄物はリサイクル、リユース、寄付を通して生まれ変わります。食品廃棄物はコンポストを通して堆肥化されて、リゾートのオーガニックガーデンに使用されます。タヒチで採取された飲料水はガラス瓶に詰められており、リゾートで使用されるプラスチックボトルの8割削減、シングルユースプラスチック使用停止を目標に掲げています。

-オーガニックな庭、菜園、果樹園の産物

砂と珊瑚礁の土壌から成るティアロア環礁には、オーガニックな菜園や果樹園が設けられ、野菜や果物を収穫しています。水は島内で再生した浄水、肥料には有機コンポストなどが使われます。



THE BRANDO

自然環境の研究機関、 エコステーション

テティアロアやその他熱帯の島々の環境保全をテーマに科学調査を行う研究所。世界各地からの科学者を招聘、ゲストと意見交換、無料見学ツアーなどを実施します。これは、故マーロン・ブランドがこの島に環境保護を学ぶ大学を開校したいという夢を引き継いだものです。エコステーションは、宿泊施設と実験室の2棟で構成されます。後者は基本的な実験施設、研究室、標本などの保管庫です。運営は、NPOであるテティアロア・ソサイエティが行い、文化・科学の世界的な認識を高め、島の社会・環境システムへの貢献を目指します。

主な活動内容

* 環境保全プログラム

海亀、鮫、熱帯魚、野鳥、ヤシ蟹などトロピカル動物園ともいえるほどの生物多様性を、海亀クリニック、魚類やミツバチなどの養殖所、海洋文化センターなどの様々なプロジェクトで保全します。植物、農業などにおいてもモニターリング、保全、改修プログラムを推進します。多様な生物の一つとしての人間、その祖先がこの島で育んできた文化の継承もプログラムに組み込まれています。

* 科学者らによるリサーチ

世界各地からの科学者が、サステイナブルな開発の課題となる事柄について、認識を広めるための調査を行います。テーマは、砂浜の侵食、動物の成育地、気候の変化、ラグーンの現状、など。また、ロブスター、ヤシ蟹、魚類の生態などを観察しています。定期的に小会議や講演を行うことで、ゲストと科学者、島の自然ガイドらとの交流も図ります。

* 若者、成人へ向けた教育

テティアロア・ソサイエティは、トロピカル・アイランドにおける貴重な自然と文化の知識と価値を広めることを目標としています。緑海亀など海洋生物の保全活動を行うタヒチのNPO、テ・マナ・オ・テ・モアナ（海の意味）との数年にわたるコラボレーションを今後も強化します。テ・マナ・オ・テ・モアナは、地元の政府機関との協力で、若者を始め、広く一般も対象



THE BRANDO

とした多様な教育の場を設けています。また、ポリネシアの大学との交流や、島のゲストや住民との文化イベントや教育プログラムも主催します。

パートナーシップ

テ・マナ・オテ・モアナは、フランス領ポリネシアにおける環境保全と教育、そして海洋研究のために設立された非営利団体です。ザ ブランドのオーナーであるリチャード ベレーとセシル ガスパー博士が設立しました。テ・マナ・オテ・モアナは、インターラクティブなプログラムを通して、ローカルコミュニティ、ゲスト、子供達がより良いエコ市民となるよう啓蒙活動を続けています。

お問い合わせ先：

伊関有里子

セールス & PR レプリセンダティブ

The Brando

Phone: (80)-549809788/Email: ictahiti@yurikopalacoeur.com

www.thebrando.com